

# 「私」から始まる 民主主義



吉田 亜希 (札幌YWCA 会員)

ベアテ・シロタ・ゴードンさんは自伝『1945年のクリスマス』で、「西欧のように“個”という概念のない日本」において、「日本民族の付和雷同の性格と、自分から決して意見を言い出そうとしない引っ込み思案的な性格、しかも過激なリーダーに魅力を感じる英雄待望的な一面は、昭和の誤った歴史を生み出した根源的なもののように思い」、「日本が本当に民主主義国家になれるのかという点で不安を持っていた」と書いています。そのために、彼女は日本女性の未来を決める責任を強く感じ、考え得限りの女性と子どもの権利を草案に書き込もうと決意した、といひます。今風に言えば「同調圧力に弱く」「思考停止に陥り」「声の大きい人に従いがち」な日本国民ということでしょうか。議会は軍部の暴走を止められず、メディアも世論も軍部を支持し、勝ち目のない戦争へと突き進んで行った戦前の日本の姿と今の日本の状況とが重なるように思い、愕然とします。私たちは歴史の教訓から何も学んでいないのかもしれませんが。

ベアテさんたちGHQが起草し、議会による修正を経て、国民が選び取った日本国憲法が公布されて今年で70年目を迎えますが、日本は憲法がかかげる理想を体現し、成熟した民主主義国家に生まれ変わったと言えるでしょうか。私たちも「個」として独立した市民であると胸を張ることができるでしょうか。アジアで幾多の血を流し、原爆の悲劇を経験してなお、日本は憲法前文の「政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうに」との決意を忘れ去り、今まさに同じ過ちを繰り返そうとしているのではないのでしょうか。

2012年に発表された自民党改憲草案は、日本を天皇を中心とした軍事国家化し、誰もが生まれながらに持っている基本的人権を法律によって制限するなど、大日本帝国憲法の時代に時計の針を戻そうとする内容です。7月の参議院議員選挙で改憲勢力が3分の2以上の議席を獲得すれば、政府は憲法改正を発議し、改正国民投票法に則って「お試し改憲」を行い、緊急事態条項を導入しようとするでしょう。世界一民主的なワイマール憲法下でヒトラーが「緊急命令発布権」を悪用し、合法的に権力を掌握した様子を扱った『報道ステーション』の特集をご覧になった方も多いでしょう。非常事態時に総理大臣に権力を集中させる危険な制度です。そしてその先にある本丸の9条改定で「戦争のできる国づくり」は完成するのです。

反対に、護憲派議員が両議院で圧倒的多数を占めれば、現政権の政策を覆し、特定秘密保護法も安保法制も廃止することができます。まずは私たち自身が変わらなければなりません。民主主義の基本は「みんなちがって、みんないい」と言われますが、たとえ自分とは考え方が異なる人であっても、改憲阻止という一点では協働できるはずで、投票に行くのはもちろん、私たちの声を代弁してくれる候補者と政党を積極的に応援しましょう。そして自らの頭でものを考え、主権者として自らの権利を行使することの大切さを、将来の日本を担う若者に伝えていかなければなりません。後に振り返って、2016年7月が真の民主主義の始まりだったと思えるように。

# 世界 YWCA デイ 2016

## 「世界 YWCA 総会 in タイ」



今年の世界 Y デイは、4月16日(土)、昨年10月にタイで行われた世界 YWCA 総会に参加した、京都 YWCA 職員、堀部碧さんを迎えた。「聞いてみタイ? 見てみタイ? 食べてみタイ?」堀部さんがガイドとなり、世界総会体験ツアーが始まった。

まずは、食べてタイを知った。チキンライスは「国際相互支援部厨房」提供。次にタイを見て知った。スクリーンには、町や会場の多くの写真が映し出され、総会の熱い雰囲気伝わった。こうして、参加者は5日間の世界総会へと導かれていった。

この総会では、日本・韓国 YWCA が共同提案した「核兵器と原子力エ

ネルギーを同等に否定する」ことが決議された。また、世界 YWCA が目指す20年後の共通目標「2035年には、1億人の若い女性と少女が、正義とジェンダー平等を実現し、暴力・戦争のない世界をつくるため権力構造を変革し、すべての女性にインクルーシブで持続可能な YWCA 運動を先導する」が採択された。会員が参画し、お互いの相違を認め、多様な発想や価値観をもつことで、問題解決能力を高める。その中から、学び、成長することが大切だという考え(インクルーシブ)を学んだ。

今回のプログラムは、世界 YWCA 総会を通して国際 NGO としての YWCA の働きを知ってもらうとていい機会だったが、会員以外の参加者は1人で残念だった。来年はもっと YWCA 以外の方にも参加を呼びかけ、YWCA 活動の拡がりを伝えていきたい。

(小川 佐由理)

1996年5月12日(日)、神戸港近くのホテル・オークラにおいて、笠原芳光さん(京都精華大学名誉教授)の著「はじめに言葉あり」の出版記念会が催された。当時の会長戸山恭子さんをはじめ、会員・会員外の方が多数集まって、立食パーティで祝った。

「はじめに言葉あり」の書は、神戸 YWCA の機関紙に1977年から1996年4月まで連載された110篇の「キリスト者のことば」を集大成したものである。連載の途上ではあったが、阪神淡路大震災やその後の苦難の YWCA にあって、何か眼前の発展を望みたく、賑やかに楽しくと計画された。

「はじめに言葉あり」はヨハネによる福音書の冒頭からとっているが、聖書やキリスト教を超えた普遍性をもって人々に語りかけている。

「キリスト者のことば」はその後2015年まで続けられた。(中尾 廣美)

「カフェもぐもぐ」は、若年性認知症当事者の「悩みを共有できる人たちに会い、集う場所がほしい」「認知症になっても生きがいをもって、安心して、楽しく豊かに過ごしたい」という声から、2015年9月神戸 YWCA 地域福祉部を母体に分室でスタートしました。

9月より毎月第4木曜日、13時から15時まで分室において活動がもたれました。

試行錯誤の8か月を過ぎ、「ゆっくり過ぎず場がほしい」「地域とつながりたい」との願いを実現するため、2016年5月からは、毎月第1土曜日に活動しています。昼食のカレーをみんなで作り、お茶を飲みながら、「カフェもぐもぐ」をどのようにならしたいか、私たちに何ができるかと夢を語りあい話し合っって少しずつ動き始めています。

今はまだまだ手探りの段階ですが、「仲間づくりをしたい」「仕事をしたい」「若年性認知症当事者の声を伝えたい」「情報がほしい」を考えると、当事者の想いを大切にしながら「本人や家族、仲間たちがほっとしてつなげる場」「集い、生きがいをもって働くことのできる場」をみんなで作っていききたいと願っています。

神戸 YWCA の皆さん、カフェもぐもぐの仲間を募集しています。ぜひ仲間になってください。これからの歩みを楽しみながら創っていきましょう。また、他のグループ、多くの方々と土曜日の分室で楽しいことができたらいいな、と期待しています。美味しいカレーを作ってお待ちしています。

(宮田 泰子)



グループの活動を紹介します!

カフェもぐもぐ

## YMCA/YWCA イースター早天礼拝

3月27日、神戸東遊園地にて、YMCA/YWCA イースター早天礼拝が行なわれた。メッセージは「イエス様が呼んでいる」、藤井尚人牧師(日本聖公会神戸ヨハネ教会)。

十字架上で亡くなったイエスの墓の前で、悲しみにくれていた女を、復活されたイエスは「マリアよ」と名前と呼ばれた。女は名前を呼ばれた時、初めてイエスが復活されたことがわかり、その喜びを弟子たちに伝えに行った。そのメッセージは時を超え、現在のイースター礼拝に受け継がれている。私たちもまた、神によって一人一人が名前と呼ばれている存在であり、新しい出発をするようにと98人の出席者の心に響いた礼拝の時であった。

(野村 春美)

## 「戦争させない、9条壊すな！ 5・3兵庫憲法集会」

憲法記念日の5月3日、今年の憲法集会は、考え方や立場の違いを乗り越えて「5・3総がかり行動」として同じ想いの人、約11,000人が三宮・東遊園地に集まった。

秋葉忠利元広島市長、SEALDs 関西の若者、ママの会のお母さん、7月の参議院選挙の候補者(民進党・共産党)2人の方からのアピールがあった。

今の安倍政権は憲法99条を「道徳的要請」という巧みな言葉で解釈している。憲法を守らなければならない権力者が憲法99条を「遵守する」義務をしっかりと果たす決意をもってほしい。秋葉さんのメッセージは新鮮な語りであった。

## 「チェルノブイリ 30 年 フクシマ 5 年 国際シンポジウム」に 参加して

4月3日(日)、大阪府教育会館で開かれた「チェルノブイリ 30 年 フクシマ 5 年 国際シンポジウム」に参加しました。

原発事故は、規模や被害者の数が違って、核が人間にはコントロール出来ないこと、放射能汚染によって多くの人々が、事故前の生活や故郷を奪われること、事故が原因で生

命や健康をはじめ、「人権」が侵害されること、適切な支援と補償が実行されずに、被害者どうし、または被害者と被害者以外の人々の間に差別と分断が起こることについて学びました。

ジャンナ・フィロメンコさん「チェルノブイリ原発事故の高汚染地域からの移住者」、森松明希子さん「福島からの母子避難者」の話は、聞くのが辛い内容でしたが、直に話を聞くことが出来て良かったです。核に頼れば、同じ人災が起こり、被害者が増えることを再確認することができました。(金本 美子)

\*憲法99条「憲法尊重擁護の義務」  
天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。

(会長・鶴崎 祥子)

### 2016 年度 運営委員担当表

●運営委員会	鶴崎祥子
●キリスト教基盤部	野村春美
●地域福祉部	小川佐由理
●国際相互支援部	小野木愛
●平和活動部	鶴崎祥子
●機関紙編集部	野村春美 鶴崎祥子 宮田泰子
●被災者支援プロジェクト	小野木愛 掛橋智佳子
●定期会員集会準備委員会	宮田泰子
●会員委員会	鶴崎祥子

## 2016 神戸 YWCA キックオフ・ ミーティング

今年も、神戸YWCAの部およびグループ活動に参加するメンバーが年度のはじめに一堂に会する「キックオフミーティング」を開催します。

当日は、各部 & 各グループから一人は出席いただき、各活動の今年の抱負や思いを宣言していただきます。ぜひご参加ください!

日時：6月22日(水)

14:00 ~ 15:30

場所：神戸YWCA本館



もう15年前のことだろうか。当時わいわいランチで活動していたKさんがこんなことを言っておられた。「お弁当を配達するとね、利用者さんが『ありがとう』って笑顔で言ってくさって、とっても嬉しい気持ちになるの。私ももう少し年を取ったら、そんな素敵な『ありがとう』が言える利用者さんになりたいわ。活動にはそんな参加の仕方もあると思うのよ。」

Kさんは、その後言葉通り、素敵な利用者さんになられた。私の大好きな尊敬する人生の先輩だ。

神戸YWCAには『ありがとう』があふれている。活動に参加して『ありがとう』と言ってもらうと、くすぐったいけど、心がぼわっと温かくなっている気持ち。こんな気持ちをみんな感じられたら、楽しいんじゃないかと思う。そのためには、どうしたらいいんだろう。

何事も誰かが全部を背負わず、みんなが負担を分け合うこと。それぞれがそのときに可能な形で参加できる活動であること。そしてそれを見ながら認め合って感謝すること。Kさんが教えてくれたのは、そんなことだったのでないだろうか。

「誰もが参加できる開かれた活動」それが今年度の目標でもある。

(掛橋 智佳子)

●わいわい科学クラブ (小学生対象) **本館**

6月25日(土)「ビー玉まんげ鏡をつくろう」  
7月16日(土)「ドライアイスをたのしもう 2016」  
①10時～11時30分②13時～14時30分  
場所 神戸YWCA 本館 \*要申し込み。  
ボランティアサポーターも募集しています!  
参加費 1回200円

●聖書を読む会 **本館**

6月2日(木)・7月7日(木)13時30分～15時  
参加費 500円(1回)

●讚美歌を歌おうかい **本館**

6月2日(木)・7月7日(木)15時～16時  
参加費 500円(1回)

●文学講座 **本館**

6月21日(火)・7月19日(火)『徒然草』を読む  
13時30分～15時30分  
参加費 500円(1回)

●7月のアフタヌーン・ティー **本館**

「憲法の歴史—過去・現在・未来—」  
7月5日(火)13時30分～16時  
講師 後藤安子さん(憲法学者)  
参加費 800円(お菓子類の差し入れ大歓迎)

●カフェもぐもぐ **分室**

若年性認知症の人と仲間たちのカフェ。  
6月4日(土)13～15時  
参加費 300円(茶菓付) \*ランチ(別料金)も  
提供可(要予約)。詳しくはお問い合わせください。

●愛農人倶楽部 **その他**

神戸市北区道場の畑で農作業をしながら、自然と  
環境保全のための活動を行っています☆  
6月12日(日)10時40分  
場所:JR宝塚線道場駅改札口前集合(車でご参加の  
方はご連絡ください)  
参加費:年会費5,000円(ビジター会費500円/1回)

熊本地震  
被災者支援活動

神戸YWCAでは、4月22日までに5万円分の支援物資を購入し福岡YWCAへ届けました。その後仕けた物資は福岡YWCAから熊本YWCAへ届けられました。5月末までに総額81,344円の募金が集まり、物資購入費を引いた残額は日本YWCAへ送付しました。皆さまのご協力に感謝いたします。

▶キックオフミーティング▶バザー▶賛同・協賛・後援のルール▶熊本地震支援(5月)【報告】▶各部・プロジェクトメンバーへの声かけ進捗状況▶熊本地震支援募金▶中央委員会▶理事会【議事】▶バザー▶キックオフミーティング▶理事推薦▶YWCA 全国会員総会▶9月以降の日程▶次世代プロジェクト (野村 春美)

▶理事会報告

4月30日(土)第11回理事会開催。財政とファンドレイジングについて協議。5月28日(土)第12回理事会開催。2015年度事業報告と決算承認。(総幹事・寺内 真子)

▶新入会員

梅川 玲子 沖本 雅子  
小林 和代 田中 明香  
坪田 美紀 橋本 美和  
山本 千代美 (敬称略)

▶賛助員

佐治 孝典 篠原 悦子  
平木 貴美子 平山 嘉廣  
丸山 春子 渡辺 敏夫(敬称略)

▶編集後記

神戸YWCAの新年度活動がスタートした。それぞれの活動の様子が機関紙に載るのが楽しみ。(H・N)

■学院だより

日本語コースでは4月12日から中級コースを2クラス開講。昨年度から継続する10人の受講生が学んでいる。5月から技能実習生クラスが開講、ミヤマー人3人が仕事に必要な日本語を学び始めた。

文化庁委託事業「生活のための基礎日本語」クラスIは5月30日開講、7月開講のクラスIIは現在募集中である。

今年度も引き続きHIAによる助成事業「はっぴー・さぼーと」「はっぴー・すくーる」「ママの日本語クラス」を実施。外国にルーツをもつ子どもたちや母親を受け入れている。

文化教養コースでは「中国医療気功」が第3火曜日14時から開講。「ピアノ教室」は、受講生一人ひとりに応じたレッスンを行っている。(原田 雅子)

■まごの手だより

産後ホームヘルプサービスは、昨年に引き続き神戸市から中央区と灘区を委託されている。

女性の社会進出に伴い、祖

母が働いていて産後の支援を得られなかったり、出産の高齢化により祖母が親の介護のため産後を支援できないケースもある。また、父親のDVから逃れてシングルマザーになったり、1Kの狭い住居で生活保護を受けながら育児したり、社会の不安も垣間見える。産後にうつ病などの精神疾患になった場合、障害福祉サービスに移行する。市民税非課税や生活保護の世帯は利用料が無料になる。

ヘルパーの派遣は、孤立し不安を抱えた親のストレスを少しでも減らし、虐待予防の見守りの役目も担っている。(産後ヘルパーコーディネーター・藤原 道子)

■分室だより

今年度も分室では「木曜カフェ」(毎週木曜14時～15時30分まで)がスタートしました。この4月からは、火曜日朝の「イナカフェ」に加え、「食品公害を追放し安全な食べ物を求める会」にご紹介いただいた「いちじま丹波太郎」も加わり、週2回の野菜販売となりました。一段とにぎわっ

ていますので、ぜひ一度、のぞいてみてくださいね。

中央むつみ会、えんびつの家、求める会、シティライトも継続出店中。どうぞよろしく!(西本 玲子)

■保育園だより

5月に0歳児2人を迎え、賑やかになってきた保育室。また、新たな泣き声が響いています。でも、そこは子ども同士のこと。泣きながらも他の子どもの動きを目で追っています。先輩たちは泣いている子どもを覗き込んで何か言いたげなポーズをとって自分の遊びを始めます。0・1・2歳といえども関わりや繋がりを持って生活しているのですね。

保護者の方も自分のお子さんだけでなく子どもたちみんなに声をかけてくださいます。これも小規模保育のよさでしょう。そんな毎日です。(園長・梅川 玲子)

■運営委員会報告

(4月)▶オリエンテーション【報告】理事会【議事】▶2016年度運営委員会の働き▶今年度のスケジュール確認



**ゴーフル®**  
いいものは時代をこえて  
生き続けます

**神戸且月堂**  
本社 神戸市中央区元町通3丁目3-10 TEL(078)321-5555  
URL <http://www.kobe-fugetsudo.co.jp>



**(有) 佐野葬祭**  
代表取締役 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)

いーく に みくに  
**0120-592-392** (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます  
尼崎市潮江4丁目2-2  
URL: <http://sanosousai.com>